

○ 今般のPPE配布においては、各市町村ごとに以下の考え方で算出した配布量の目安を基に、配送ロットや予備等を踏まえて配布上限数を決定している。

接種対象者の前提

接種対象となる小児（5歳から11歳）140万人分を各市町村ごとに人口で按分

物資ごとの使用前提等

サージカルマスク

接種対象者÷20回×7人（枚）

- ・ 会場担当者（接種チーム(予診、接種、薬液充填・接種補助)計3名、経過観察者1名、事務職員3名で1ライン）の装着を想定。
- ・ 1日1ライン20回接種を前提として算出。

非滅菌手袋

（接種対象者 + 接種対象者÷20回）（双）

- ・ 接種者の装着（被接種者ごとの交換）、薬液充填・接種補助者の装着、予診・緊急対応の必要時の装着を想定。
- ・ 薬液充填・接種補助者装着分は、サージカルマスクの会場担当者に含まれるため、同様の考え方。
- ・ 予診・緊急対応の必要時装着分は、接種者装着分の予備で賄う。

N95等マスク

集団接種会場数×100枚を総量とする

アイソレーションガウン

- ・ 集団接種会場における緊急時使用備蓄を想定。
- ・ 集団接種会場は、1箇所各物資100枚で算出。

フェイスシールド

※サージカルマスクと非滅菌手袋に比べて配布数が少ないことから、市区町村には今後の必要分をまとめて配布